

## めんどくさい先輩

第8期OB 黒沢 祐介

このエッセイの筆をとったのは、2020年2月1日です。そう、OB・OG会が開催されたその日です。毎年後輩からOB・OG会誌の執筆依頼をいただくものの、年末は諸々やることがあったり（正直、そこまでではない）、やる気をなくしたり（こっちの方が正直なところ）で、ろくすっぽ書けていませんでした。なので、忘れぬようやる気があるうちに、鉄は熱いうちに、ということで今年はOB・OG会が終わった直後に筆をとった次第です。

さて、しばらく会誌を書かないうちに、僕も今年で33歳。会社では「若手です!」という歳でもなく、ゼミでも若めのOB! というわけでもなく。そこそこいい歳になりました。そんな歳になったから、すごく不安になることがあるんです。あれ、もしかして自分、めんどくさい先輩になってないかな、と。できればいつまでも後輩に好かれるような先輩でいたい、いや、わがままは言わない、めんどくさい先輩とは思われたくない、と。現在そして将来も自己点検できるよう、後輩に接するときに留意したいポイントをここに記しておくこととします。

### ◆ポイント①：自分語りは控える

きっと僕は「かっこいい先輩」を演出したいのでしょう、お酒の場で自分の武勇伝や武功を語ることが多くなってきたように思います。確かに会社の先輩の成功体験を聞くのは有益なこともまあある一方で、会話の流れに沿わない武勇伝を一方的に放り込む、同じ話を同じ後輩に何度もしてしまうというのは、「かっこいい先輩」とは言い難いですよ。そう分かっているものの、気遣いのできる後輩が「さすが!」等、合の手を入れてくれたりすると、気持ちよくなってしまって、つい。気を付けます。

### ◆ポイント②：適度に後輩に話を振る

せっかくの後輩とコミュニケーションを取る機会を頂戴しているというのに、「ずっと俺のターン!」と言わんばかりにしゃべり続けてしまう。コミュニケーションなのに一方通行。これもまた「かっこいい先輩」とは違うと思っています。

### ◆ポイント③：お会計は少しだけ多めに出す

上述の2点は酔っぱらっているとできないこともあります。これは意識すれば必ずできるはず。①②ができない（自分語りばかりして1人でしゃべり続けている）、かつ、きっちり目の割り勘ともなると、後

輩的には「話つまらなくて相槌頑張ったのに有料かよ！」となるので、1 番注意したいポイントです。なお、このエッセイは 2021 年の OB・OG 会誌で出されるものかと思いますが、今年は残念ながら WEB 開催ですので、奢れないですね、残念です。来年以降、たかってください。

改めて書いてみると、すでに結構当てはまる部分が多くて、恐ろしい限りです。少なくとも、めんどくさくなってしまったときに、後輩から「先輩、めんどくさいっすね（真顔）」みたいなことを言いやすい先輩にはなりたいものです。やっぱり、自分至らないな、と気づくことが何事も第 1 歩ですから。

最後になりますが、1 つだけ。本エッセイの執筆にあたり想像した「先輩」というのは、もっぱら会社の諸先輩を想定して記載した内容であって、ゼミの先輩は一切関係がありません、ということをおし加えておきます。



中学の同級生と（この後酔っぱらってめんどくさいヤツになった著者は右から 2 番目）